

【高等学校用】

令和7年度学校評価 結果

達成度(評価)  
A:十分達成できている C:やや不十分である  
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校 商業キャンパス 定時制
1 前年度	・学校魅力の発信、通学しやすい環境の整備、現代のニーズに合ったカリキュラム編成
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	西部地区唯一の商業科定時制高校として、多様な生徒に対応した商業教育を実践する。
4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり</li> <li>学習意欲を高め、確かな学力習得(修得)と進路実現を図る</li> <li>次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る</li> </ul>

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	<p>A) このような生徒を求めています</p> <p>1 思いやりがあり協力して学びあうことができる。</p> <p>2 働きながら学びたい</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやり</li> <li>○学習</li> <li>○向上</li> <li>○勤労</li> <li>○協力</li> </ul>	<p>B) 学びたい心を大切にします!</p> <p>【少人数クラスでの教科指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商業教科を基礎から指導します。</li> <li>○専門知識と技術の定着を図ります。</li> </ul> <p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら学ぶほうとする意欲を大切にします。</li> <li>○単位制を導入しています。</li> <li>○働きながら学べます。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2学期制です。</li> <li>○併修制度により3年での卒業も可能です。</li> <li>○多様な外部講師による社会人教育もあります。</li> </ul>	<p>C) 身に付けてもらいたい能力・精神!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者と協働できる力</li> <li>○自ら学び行動する力</li> <li>○社会の課題に向き合う力</li> <li>○多様な人々と協働できる力</li> <li>○地域産業に貢献できる力</li> </ul>

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者		
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果			評価	意見や提言
				達成度(評価)	達成度(評価)						
●学力の向上	○基礎学力の定着・向上	○基礎学力テストで60%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業実施率95%以上 ・少人数教育のメリットを生かし、毎時全生徒に声掛けを行い理解度を確認する	A	・天災による休校もなく、予定どおりの授業が実施できているため、授業実施率95%達成可能である。 ・その都度気になる生徒には声かけが行われている。	A	・授業実施率は現時点では目標達成可能である。 ・出席率は(1/15現在)97.1%である。 ・授業も熱心に取り組んでおり、資格取得も良い結果が現れている。	A	・学力目標まであと少しということまでご尽力されている。共に出席率も高く素晴らしいことです。	教務主任 進路指導主事 各教科・学年主任	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教員80%以上	・人権・同和教育講演会の実施 ・LHRにおいて、情報モラル教育、人権・同和教育を実施	B	・人権・同和教育講演会は、既に行っており感想文からも人権意識の向上や多様性への理解が図られていることが確認できた。 ・情報モラルについても講演会を実施し、SNSの使い方やトラブル防止について注意喚起を行うことができた。	A	・外部講師による人権・同和教育講演会を実施し、生徒が多様性理解や人権尊重の意識を深めたことを確認した。 ・参加生徒からは、講演の感想文で「ためになった」という意見が100%であった。	A	・人権・同和教育等の講話を通して生徒一人ひとりが人権についてしっかりと考えられる時間をつくり、人を尊重する、認める心の教育をさせていて素晴らしいです。これからもこの活動を続けて欲しいです。	人権・同和教育担当者 道徳教育推進教師	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員100%	・いじめアンケート(年間5回)実施後に、必ず研修・会議を行う	B	・いじめアンケートを2回行い結果を共有し校内研修を行った。 ・いじめの定義については100%の職員が理解し、組織として共有できている。しかし、事案対策等は本年度まだ事案の発生がないため、今後事案が発生した場合に組織的に対応できたか全職員で検証する。	A	・いじめアンケートを5回行い結果を共有し校内研修を行った。 ・いじめの定義については100%の職員が理解し、組織として共有できている。本年度事案の発生がなかったため、組織的に対応できるよう検証した。	A	・些細なことからいじめとなることもあるので、ちよつとした違和感、芽になる前からの対策や事案の発生にいち早く対応されているので成果がでていると思います。	生徒指導主事 各学年主任	
●健康・体づくり	○健康管理能力の向上 ●望ましい生活習慣の形成	○「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間15時間以上	・LHRにおいて、郷土学習資料(DVD)の視聴や伊万里学を実施 ・佐賀を誇りに思う講演会の実施	B	・『佐賀語り』を利用した授業を行い、地元佐賀に対する知識を深めることができた。 ・講演会については、後期(年明け)に実施予定である。	A	・『佐賀語り』を利用した授業を行い、地元佐賀に対する知識を深めることができた。 ・市の歴史民俗資料館館長を講師に、伊万里の焼き物についての講演をしていただき、郷土への思いを深めることができた。その結果、地元を誇りや愛着を感じると回答した生徒が90%であった。	A	・ボランティア活動等を通して豊かな人間性(社会性、コミュニケーション力、自己肯定感向上、貢献、奉仕、思いやり等)の向上が図られるので今後も続けて欲しいです。	教務担当者	
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定	A	・月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合0%だった。 ・夏季休業中に4日間、学校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備し、全職員が取得することができた。	A	・4月から1月までの月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合0%で全職員が遵守できている。 ・夏季休業中に4日間、学校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備し、全職員が取得することができた。	A	・全職員の目標の休暇取得が達成され、常に業務の改善に取組まれていると思います。	管理職	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員93%以上	・特別支援教育に関して正しい理解につながるよう外部講師を招聘し職員研修会を開催する	A	・ADHD、ASDの外部講師による職員研修を行い、質問について書面で回答をもらいさらに理解を深めた。	A	・個別の支援計画対象生徒の「共通シート」を新たに作成した。効果的な声掛け、生徒の反応などを職員誰もが書き込める形にしたので、支援指導に活かしている。このためケース会議を開くような必要はない。 ・特別支援委員会は1回開催	A	・個別支援計画とさらに共通シートを設け職員間の共有を図られ対応をわかりやすくされている取組が、生徒の学校生活の向上につながっていると思います。高い支援ができるように今後も研修等でスキルアップと工夫を続けて欲しいです。	特別支援コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
				達成度(評価)	達成度(評価)						
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合を85%以上 ★県外からの入学者数1人以上	・行事ごとにホームページを更新 ・全日制及びハローワークと連携し進路情報を生徒に提供する	A	・学校行事の写真等を更新している。 ・新規卒業生の就職、進学に向けての活動は全日制、ハローワークとの連携のもと積極的に進められている	A	・学校行事、給食・保健の各だより、生徒会通信は毎月掲載し、行事写真を通して学校生活が伝わるような配信をしている。 ・全日制およびハローワークとの連携により、進路情報の提供を充分に行うことができた。	A	・お便り等の配布など大変な業務だと思いますが、この通信で保護者の方へ安心感を与え、入学希望者へのおすすめできるツールになっていると思います。	教務主任 進路指導主事	
◎志を高める教育	◎学習意欲を高め、進路実現に向け能動的に行動できる生徒の育成	◎卒業予定者の進路決定率100% ◎在校生の就労率90%以上	・アルバイト等の就労体験を通し社会性を身につけ進路意識を高める。 ・日頃の教育活動を通して進路意識の啓発を行う	A	・就労については家業の手伝いを含めれば100%達成されている。 ・キャリア教育のLHRのみならず、進路に関する情報をしっかり提供することによって進路意識の啓発を行っている。	A	・卒業予定者の進路決定率は100%を達成した。(就職1名・進学1名) ・就労については中間評価同様家業の手伝いを含めれば100%達成されている。	A	・就職に向けてのハローワークとの連携など生徒も安心して相談できる体制が万全であると思います。もちろん進学に対しては万全なサポートができていると思います。	進路指導主事 教務主任 各教科・学年主任	

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時制独自の学校紹介DVDの製作や定時制ホームページによる情報発信など新たな取り組みや学校PR活動を講じた結果、志願者数が増加した。次年度も継続し学校魅力の発信、通学しやすい環境の整備、現代のニーズに合ったカリキュラム編成など生徒確保への取り組みを行い「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創り、地域に根ざした学校づくりを引き続き行う。</li> <li>全職員が「One Team」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組むことができた。</li> <li>4年次生は、進路100%を達成し卒業することができた。</li> </ul>
----------------------	--